



2021年1月26日

各 位

会 社 名	株式会社リンガーハット
代表者名	代表取締役社長兼 CEO 佐々野 諸延 (コード：8200、東証第1部、福証)
問合せ先	常務取締役 小田 昌広 (TEL. 03-5745-8611)

資本性劣後ローンによる資金調達のお知らせ

当社は、2021年1月26日付の取締役会において、株式会社三菱UFJ銀行及び株式会社十八親和銀行の2行から総額50億円の資本性劣後ローン（以下「本資本性劣後ローン」といいます。）による資金調達を行うことを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 借入の理由

今般の新型コロナウイルス感染症拡大の影響による緊急事態宣言の発出に伴う休業要請や外出自粛に加え、出入国制限による外国人旅行客の減少による来店客数の激減などもあり、経営環境は先行きの見通せない非常に厳しい状況となっております。このような状況の中で、当社は食の「安全・安心・健康」向上に継続して取り組んでまいるとともに、『全員参加で、更なる成長を目指そう』をスローガンに、強固な企業体質づくりとともに、企業価値向上に努めております。コロナ禍の施策としては、お客様の消費スタイルの変化に伴いテイクアウトやデリバリー販売を強化するため、テイクアウト用商品を充実し、スマートフォンによる事前決済システムを新規導入いたしました。また、ショッピングセンター内フードコート店舗にも出前代行サービスの対応可能店舗を拡大いたしました。

一方で、当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受け、2021年2月期第3四半期連結累計期間に純損失を計上したため、財務基盤を毀損しております。新型コロナウイルス感染症はいまだ収束の目途はたっておらず、不透明な事業環境が続く可能性があることから、手元資金の拡充及び中長期的な財政基盤の安定性を速やかに確保することを目的として資本性劣後ローンによる資金調達を決定しました。

尚、本日付で公表した「自己株式を活用した第三者割当てによる第1回新株予約権（行使価額修正条項及び行使許可条項付）の発行に関するお知らせ」のとおり、当社は、本資本性劣後ローンによる資金調達に加えて、調達金額が資本となる新株予約権による資金調達も予定しております。本資本性劣後ローンによる資金調達にて実質的な資本増強の効果を即座に得ると同時に、新株予約権による資金調達にて投資戦略の継続と段階的な自己資本の拡充を実現することで、再成長を実現するための盤石な財務基盤を構築し、将来の企業価値向上と経営の安定化を図ることで、既存株主様をはじめとするステークホルダーの利益の最大化に努めてまいります。

2. 資本性劣後ローンの特徴

今回の資本性劣後ローンによる債務については金融機関の資産査定上、自己資本とみなすことができます。そのため、実質的に資本増強効果が得られ、財務の健全性を高めることが可能となります。

3. 当該資本性劣後ローンの概要

(1) 借入先	株式会社三菱UFJ銀行	株式会社十八親和銀行
(2) 借入額	30億円	20億円
(3) 借入実行日	2021年1月29日(予定)	
(4) 返済期間	8年間	
(5) 担保提供資産又は保証の内容	無担保・無保証	

4. 今後の見通し

今回の資金調達による2021年2月期の当社の業績に与える影響は、軽微であります。

以上